

第14表 社会福祉施設数、収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。
※印には内部障害者更生施設、身体障害者授産施設等を含む。

施設別	昭和44年						昭和45年					
	施設数			収容人員			施設数			収容人員		
	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営
総数	693	332	361	54 137 28 592 25 545			789	329	460	55 774 26 599 29 175		
養護老人ホーム施設	25	14	11	2 771	1 639	1 132	26	9	17	2 647	914	1 733
救護更生施設	8	5	3	655	465	190	8	4	4	663	297	366
宿所提供施設	6	4	2	840	600	240	6	2	4	863	353	510
授産施設	11	10	1	2 113	1 933	180	2	-	2	191	-	191
医療保護施設	3	-	3	155	-	155	3	-	3	155	-	155
婦人保護施設	16	14	2	2 697	2 447	250	12	11	1	2 407	2 269	138
療養院	4	4	-	255	255	-	4	-	4	149	-	149
児童養護施設	6	6	-	249	249	-	6	6	-	257	-	257
精神薄弱児施設	40	34	6	3 288	2 698	590	39	33	6	3 218	2 598	620
精神薄弱児通園施設	10	8	2	581	421	160	11	8	3	678	482	196
教養施設	4	1	3	170	50	120	4	1	3	152	50	102
肢不自由児施設	2	-	2	374	-	374	2	-	2	284	-	284
盲児施設	2	2	-	330	330	-	5	3	2	370	331	39
虚弱児施設	2	2	-	80	80	-	2	2	-	80	80	-
児童厚生施設	1	1	-	75	75	-	1	1	-	66	66	-
助産施設	22	11	11	-	-	-	50	2	48	-	-	-
母子寮	28	11	17	163	97	66	44	24	20	126	113	13
育児相談所	21	7	14	504	294	210	20	5	15	557	218	339
※身体障害者更生施設	440	178	262	37 125 16 000 21 125			493	199	294	40 859 17 624 23 235		
身体障害者施設	8	-	8	-	-	-	8	-	8	-	-	-
精神薄弱者授産施設	9	3	6	180	37	143	-	-	-	-	-	-
内部障害者更生施設	5	2	3	322	62	260	8	3	5	522	92	430
特別養護老人ホーム	1	1	-	80	80	-	-	-	-	-	-	-
軽費老人ホーム	6	5	1	680	380	300	7	5	2	690	355	335
老人福祉センター	5	5	-	300	300	-	6	4	2	398	231	167
精神障害児短期治療施設	6	3	3	-	-	-	10	-	10	-	-	-
重症心身障害児施設	1	-	1	50	-	50	1	1	-	50	-	50
	1	1	-	100	100	-	1	1	-	128	128	-

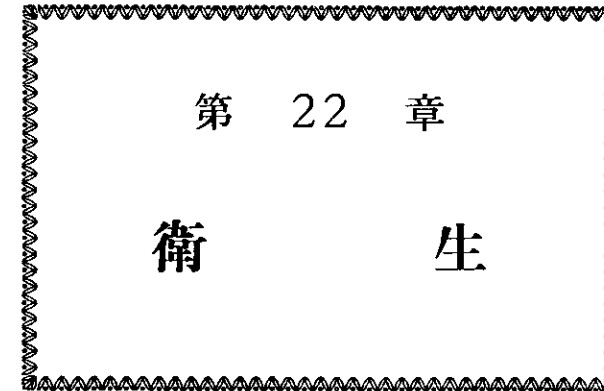
資料 大阪府民生部民生総務課、婦人児童課、大阪市民生局庶務課

第15表 共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金、配分額には経費充当額・次年度運動準備金・繰越配分金が加えられていない。
注) 昭和43年度の配分額において項目の分類方法が変わったため総額と各項目の合計は一致しない。

募金区別	募金額				配分先別	配分額			
	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度		昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
総額	115 946	139 413	179 695	148 385	総額	96 346	120 789	160 757	128 888
戸別募金	78 880	91 149	96 201	93 176	社会福祉施設	31 566	47 913	73 422	36 934
法人募金	6 500	9 800	61 488	25 138	保育所託児所	8 174	4 000	4 469	4 721
学校職域募金	3 950	4 843	5 175	5 294	隣保館児童館遊園地	5 443	3 209	3 055	2 673
街頭募金	3 109	4 454	5 459	5 442	社会福祉事業団体	400	500	2 650	3 600
パッチ収益金	9 097	11 000	11 005	10 194	府市社会福祉協議会	5 700	6 270	6 270	6 678
その他	14 410	18 167	367	9 141	更生援護資金	8 970	5 730	5 730	4 780
目標額	81 000	130 000	140 000	142 000	地域社会福祉協議会	35 994	54 815	65 061	69 384
					らい患者慰安費	100	100	100	100

資料 社会福祉法人大阪共同募金会



第 22 章 衛生

病院、病床の概況

府下の昭和45年度末医療施設総数は8,422施設で、前年末にくらべ128施設の増加である。また、種類別にみると、病院総数は432施設をかぞえ、そのうち一般病院は383施設(88.7%)で大半をしめ、ついで精神病院39施設(9.0%)、結核療養所8施設、伝染病院2施設となっている。なお、人口10万対病院数は病院総数で5.7、一般病院で5.0、一施設あたりの人口は病院総数で約1万8千人、一般病院で約2万人である。

一方、一般診療所総数は5,599施設で、前年にくらべて90施設(1.6%)の増加、人口10万対の一般診療所数は73.5で、一診療所あたり人口は約1,400人である。また歯科診療所総数は2,391施設で、前年にくらべて34施設(1.4%)の増加、人口10万対歯科診療所数は31.4施設で、一診療所あたりの人口は約3,200人である。

全施設の病床数は7万7千余床で、前年にくらべ988床(1.3%)の増加である。人口10万対の病床数は1,011.5で全病床数のうち89.0%が病院、11.0%が一般診療所の病床である。また、施設の種類別に病床数をみると、一般診療所の病床を含めた一般病床が65.7%で最も多く、ついで精神病床が19.4%、結核病床が13.7%の割合を占めている。

在院患者数は、延2,042万余人で1日平均5万6千人、これを人口10万対でみると743.2人で府民136人のうち1人は入院していることになる。

在院患者延数を病床の種類別でみると、精神病床579万余人、結核病床294万余人、伝染病床1万4千余人、一般病床1,168万余人で一般病床を利用した患者が57.2%を占め、ついで精神病床の28.3%、結核病床の14.4%となっている。なお、新入院患者数は41万余人、退院患者数も41万余人であるが、その1日平均では1,148人、1,147人。外来患者延数は約2,761万余人で府下の病院1日あたりの平均外来患者数は約7万6千人、人口10万対1日あたりでは992人となり、府民100人に1人は毎日病院外来で診療を受けていることになる。

医師等の数

医師総数は9,416人で前年末にくらべて421人(4.7%)の増加となり、医師1人あたりの人口は809人(前年末828人)である。また人口10万対医師数は昭和33年の147.0を最高にその後低下の一途をたどり、昭和43年は最低の119.3となったが昭和45年末には123.6と少し上昇した。一方歯科医師数は2,917人で、人口10万対の医師数は38.3で前年の39.2にくらべると下回っている。薬剤師数は7,487人で前年末より318人(4.4%)増加し、人口10万対薬剤師数は98.3(前年96.3)と高くなった。

死亡の概況

昭和45年本府の死亡数は4万68人、人口千対死亡率は5.3、13分7秒に1人亡くなったこととなるが低率である。

ある。

昭和44年度主要死因別の順位をみると、トップは脳卒中、次にガン、心臓病、不慮の事故、老衰と続き、昭和27年まで長くトップを占めていた結核は7位にまで下がっている。また、死亡率を府下市町村別にみると南海町11.3、能勢町8.6、河南町8.3と高く、反対に門真市2.8、寝屋川市3.1、交野町3.4と低率である。

伝染病患者の概況

府下における伝染病発生届出総数は約2万3千人、その内訳をみると法定伝染病260人、指定伝染病該当者なし、届出伝染病2,193人、性病1,701人、結核1万9,252人、らい3人である。

昭和45年の法定伝染病(260人)は、前年と比較して95人の減少である。これは、しょうこう熱、腸チフス、日本脳炎の減少による影響である。なお、昭和45年発生届出数は10年前(昭和35年)の届出数と比較して15分の1以下であり、ここ数年、法定伝染病の減少は著しいものがある。また、指定伝染病のうち昭和36年まで毎年100人以上の届出数があった急性灰白髄炎においても、昭和36年6月より全国的に実施された経口生ポリオワクチンの投与の予防措置により急激に減少を示している。なお、本年は届出数がなかった。

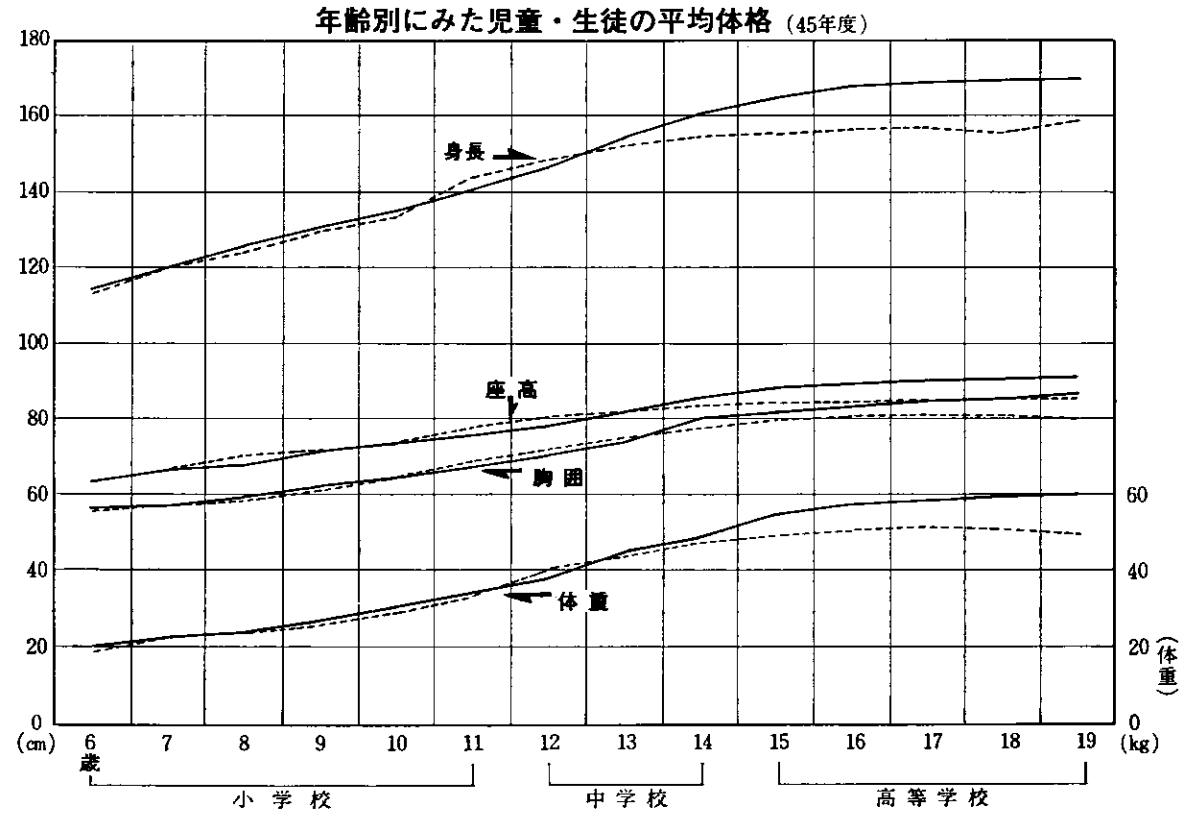
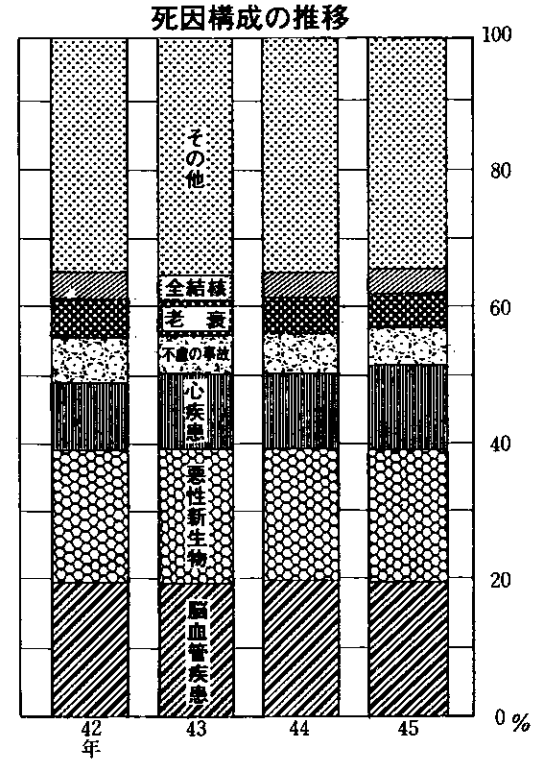
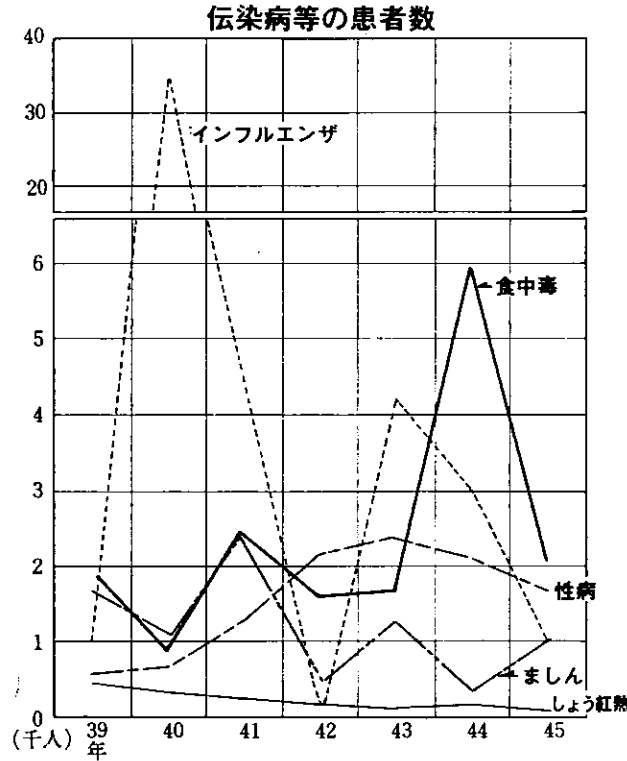
児童、生徒の体格

本年度における府下の生徒、児童、幼児の発育状況をその最も顕著な男子13才、女子11才を例にとって昭和35年と比較してみると、男子では身長で5.9cm、体重5.4kg、胸囲3.2cm。女子では身長3.8cm、体重1.4kg、胸囲2.5cmといずれも伸びがみられている。

公害の概況

ますます広域化、多様化の方向をたどる環境汚染に対し、当府では大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、地盤地下、土壌汚染、産業廃棄物などの分野ごとに発生源の調査、監視、規制および公害防止に必要な公共施設の整備、公害防止施設に対する融資、補助さらには被害の救済に至るまで幅広い対策がとられている。分野ごとにその現況をみると、大気汚染については工場、事業場等から排出されるいおう酸化物、ばいじんおよび自動車排出ガス等による汚染が、大阪市、堺市とその周辺都市地域に相当程度進んでおり、さらに都市化、工業化の進展に伴い汚染の範囲も拡大しつつある。水質汚濁については、淀川、神崎川、寝屋川、大和川等の汚濁がはなはだしく、大阪湾はこれらの河川の流入により、水質や底質が悪化している。また、地盤沈下では、大阪市内は停止するに至っているが、北摂、東大阪、泉州地域では現在なお沈下している。

なお、昭和45年度の本府で受理した公害陳情件数は928件となった。



第1表 病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもたないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。各年末現在。

Table with columns for year, hospital type (General, Infectious, etc.), and bed counts. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるもので従業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。各年末現在。

Table with columns for year, profession (Physician, Dentist, etc.), and counts. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」、同農林部農畜産課

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。各年末現在。

Table with columns for year, profession (Pharmacist, Nurse, etc.), and counts. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者、衛生管理者数は「労働基準法」による免許証所有の医師でない専任者、栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したもの。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種乙種の免許証所有者、眼鏡士数は大阪目衛生協会への登録者、調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者、あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。各年末現在。

Table with columns for year, profession (X-ray technician, Nutritionist, etc.), and counts. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもので、病床利用率は各年の(6月末在院患者数/6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year, hospital type, inpatient numbers, and bed utilization rates. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2以上の診療科で受診した場合それぞれとして計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year, hospital type, new inpatient numbers, and outpatient numbers. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は優生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table with columns for year, age group, and number of induced abortions. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人工妊娠中絶年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要しない営業施設の数であるが許可を要しない施設については概数である。各年末現在。

Table with columns for year, facility type (Food store, etc.), and counts. Includes data for 1941-1945.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「厚生省報告例」

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of farms, inspection counts for various animals, and rat capture statistics.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部農畜産課

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるもので各年末現在である。

Table showing the number of establishments and staff in various public facilities like hotels, public baths, and beauty salons.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、再生資源関係営業施設数は「大阪府再生資源営業取締条例」にもとづく許可施設数である。各年末現在。

Table detailing the number of establishments related to recycling and resource management.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table showing health checkup statistics for tuberculosis prevention, including number of patients and those with positive results.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生省大臣官房統計調査部

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有明者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table showing statistics for sexually transmitted diseases, vaccinations, parasites, and trachoma.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 公衆衛生関係衛生検査件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table detailing the number of public health inspection cases across various categories like bacteria, viruses, and food safety.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とは総べての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取り扱いをする薬種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取り扱う資格を要しない業者()内の数字は内数で衛生材料製造業

Table showing the number of pharmaceutical-related businesses, categorized by type of business and product.

資料 大阪府衛生部業務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字であるが、昭和41.42.43年については、がんおよび結核末期のものを除いたものでいずれも年中の新規発見者の数である。

Table showing the number of drug addicts, broken down by age group and gender.

資料 大阪府衛生部業務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

本表は保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計である。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表頭注参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第19表 スモッグ情報・注意報・警報発令回数・時間数

大気汚染防止法第17条の発令基準によるものである。*印は重なった発令時間は加算していない。

Table showing smog information, warning reports, and alert orders with columns for year (年次), information reports (情報発令回数), warning reports (注意報), and alerts (警報).

資料 大阪府公害白書

第20表 重油等燃料使用量

大工場とは本府のブルースカイ計画第1号対象工場、高煙突とはその高度が60メートル以上で、亜硫酸ガスの年間排出量が1,500トン以上のものをいう。

Table showing heavy oil and fuel usage with columns for year (年次), total usage (総使用量), large industrial plants (大工場), and other plants (その他の工場).

資料 大阪府公害白書

第21表 亜硫酸ガス排出量等

第20表頭注参照のこと。

Table showing sulfur dioxide gas discharge with columns for year (年次), total discharge (総排出量), large industrial plants (大工場), and other plants (その他の工場).

資料 大阪府公害白書

第22表

降下ばいじん量

1平方キロメートル当りの量。デポジットゲージまたはダストジャーによる測定である。但し堺市については簡易ばいじんびんであるため測定位を2分の1に調整してある。

Table with columns for year (昭和41-45), city (大阪市, 堺市, 豊中市, 守口市, 東大阪市, 八尾市), and dust amount (平均, 工業地域, 準工業地域, 商業地域, 住居地域).

資料 大阪府公害白書

第23表

一酸化炭素等有害物質濃度測定量

昭和45年7月までは青少年会館、昭和45年8月以降は府公害監視センターにおいて測定。

Table with columns for year (昭和45年度, 46年), pollutant (一酸化炭素, 一酸化窒素, 二酸化窒素, オキシダント), and concentration (月平均, 月最高).

資料 大阪府公害白書

第24表 自動車排ガス観測所における一酸化炭素濃度測定結果

「環境基準をこえる日数」については24時間平均値 100 P P mをこえる日数を示す。

Table with columns for year/month, location (梅田新道, 北粉浜小学校, 出来島小学校), and CO concentration (月平均, 月最大値, 環境基準をこえる日数).

資料 大阪府公害白書

第25表

大阪湾海域水質底質環境

本表は昭和45年8月27日調査によるものである。()内は定量限界を示し、底質については環境規準は決められていない。ND(検出せず)とは定量限界以下をいう。

Table with columns for location (岸和田港, 大津川, etc.), pollutant (シアン, 総水銀, アルキル水銀, etc.), and concentration (ppm, dry*ppm).

資料 大阪府公害白書

第26表

大阪湾流入BOD負荷量

本表は昭和42年度調査によるものである。

Table with columns for region (総数, 河川, 工場排水, 家庭下水, 処理場排水, その他) and BOD load (総数, 流量, 負荷量).

資料 大阪府公害白書

第 27 表 年間地盤沈下量(代表地点)

Table with columns for region (地域), location (所在地), and annual ground subsidence (年間沈下量) for years 1941-1945. Includes data for various districts like Osaka, Naniwa, and Abeno.

資料 大阪府公害白書

第 28 表 ばい煙、ガス・ふんじん規制対象工場、事業所届出件数

各年度末現在。工場、事業所数は届出のべ件数である。

Table showing the number of factories and business establishments subject to regulations for dust, gas, and fumes. Columns include city/town/village (市町村) and years 1944 and 1945.

資料 大阪府生活環境部公害対策課

第 29 表

ごみおよびし尿の収集と処理量

本表は昭和45年度中に取扱った合計で、本文中の計画収集量とは処理計画量である。なお、し尿浄化槽には豊能郡を含む。

Table detailing the collection and treatment of garbage and sewage. Columns include city/department (市郡), collection (ごみの収集), treatment (ごみの処理), and sewage collection/treatment (し尿の収集/処理).

資料 大阪府生活環境部環境整備課、大阪府衛生部環境衛生課

第 32 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである。

Table with columns for year/month, sex, total cases, syphilis, venereal diseases, soft chancre, and tuberculosis. Includes data for 1941-1945 and monthly breakdown for 1945.

第 33 表

市 郡 別、年 齢 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人にかんする

Table showing population statistics by city/county and age group (0-4, 5-9, 10-14, 15-19, 20-24, 25-29, 30-34). Lists various municipalities like Osaka, Sakai, and others.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人口動態調査」

者数、罹患率および死亡者数

るため、死者数の計は合致しない。罹患率は人口10万対である。

Table with columns for total cases, respiratory diseases, other diseases, tuberculosis, and food poisoning. Includes data for 1941-1945 and monthly breakdown for 1945.

級 別 死 亡 者 数

もので府外で死亡したものも含まれる。

Table showing death statistics by age group (35-39, 40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80+, and undetermined).

第 35 表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」ただし昭和35・40年は文部省、45年は大阪府教育委員会が実施したもの。なお昭和45年の高等学校については全日制の計数である。

Table with columns for Age (Year), Height (身 長), Weight (体 重), Chest Girth (胸 囲), and Height (座 高). Rows include Kindergarten (幼稚園), Elementary School (小学校), Middle School (中学校), and High School (高等学校) for both boys and girls.

資料 大阪府企画部統計課、大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

第 36 表

幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。比体重=体重÷身長×100 比胸囲=胸囲÷身長×100 比座高=座高÷身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest girth, and sitting height for different age groups (Kindergarten, Elementary School, Middle School, High School) for both boys and girls.

資料 大阪府企画部統計課、大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

第 37 表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を%で示す。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。なお、ゴシツク体は受検率である。

Table showing the percentage of children with various diseases and abnormalities, categorized by school level (Kindergarten, Elementary School, Middle School, High School) and gender.

資料 大阪府企画部統計課、大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

第 38 表

摂取栄養量(1人1日当り)

本表は「国民栄養調査」によるもので栄養量はすべて調理による損耗を考慮していない。

Table with columns for nutrient types (e.g., 純熱, 蛋白質, 脂肪, 炭水化物, ビタミン) and rows for years (昭和39年 to 昭和44年) and regions (全国, 大阪府, 大阪市).

資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」

第 39 表

府県別医療施設関係者数

本表は各年末現在数で、1), 2), 3) は実務に従事するものである。4) は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Table with columns for medical professionals (医師, 歯科医師, 薬剤師) and facilities (保健婦, 助産婦, 看護婦, 病院, 一般診療所) across various prefectures and years.

資料 厚生大臣官房統計調査部「医師、歯科医師、薬剤師調査」「衛生行政業務報告」「日本統計年鑑」

第 23 章

司法および警察